

行列巡行

長岡京ガラシャ祭は、今から約440年前に、長岡京市内にある勝龍寺城に嫁いできた明智光秀の娘「玉」、のちの細川ガラシャのお輿入れの史実をテーマにしたお祭です。平成4年に始まり、今年で28回目の開催となります。豪華な歴史衣裳を身にまとい、玉の輿入れの様子を再現した約1,000人の大行列が、長岡第六小学校から勝龍寺城公園までの約3キロを練り歩くほか、楽市楽座という模擬店会場やステージショーがあり、長岡京市で最大のお祭として親しまれています。

お祭の主役である細川ガラシャ夫人は、明智光秀の娘「玉」として生まれました。現在の長岡京市内にある勝龍寺城城主であった細川家の忠興の元に嫁ぎ、勝龍寺城では幸せな新婚時代を過ごしたと言われています。しかし、父、明智光秀が歴史上の

11/10 (日)

スタート12:45
長岡第六小学校

大事件として知られる「本能寺の変」を起こした後は、父の死や味土野への幽閉など、様々な苦難の中を生き抜くこととなりました。そんな中であっても、身分の分け隔てを超えた人間愛、優しさといたわりの心を常に忘れず持ち続けていたと言われ、日本の歴史の大きなうねりの中にその名を残す数少ない女性の一人として知られています。

そんな細川ガラシャ夫人にゆかりの深い長岡京市では、2017年よりシティプロモーション「かしこ暮らしっく長岡京」の取り組みを進めています。京都大阪への阪急・JRによる2WAYアクセスなどの交通利便性や、良質な教育・子育て支援があり、時間を有意義に使いながら自分らしく快適に過ごす「かしこい暮らし」のできるまち。

そして、細川ガラシャ夫人をはじめとした歴史遺産や雄大な西山、田園風景などが豊富に残り、心温かでどこか懐かしい「暮らしっくな暮らし」ができるまちとして、「かしこ暮らしっく長岡京」をコンセプトに掲げています。長岡京市をまだご存じない方にも、長岡京ガラシャ祭を通して、「かしこ暮らしっくなまち長岡京」の魅力を知っていただければ幸いです。

ガラシャの父「明智光秀」が主役の2020年大河ドラマ「麒麟がくる」放送開始を目前に控え、長岡京市全体で、ますます盛り上げていきます。イベントが盛りだくさんの長岡京ガラシャ祭を、是非お楽しみください。

今年の配役決定



玉役

中川 有友子さん

細川忠興役

中川 健一さん

健一さんは小さいころから長岡京市で育ち、有友さんは大阪市出身。昨年5月の結婚を機に長岡京市に移り住む。

「応募はしたが、まさか当選するとは思っておらず頭が真っ白な状態。これから勉強し、当日は二人でしっかりと演じたい」